



地下道利活用PJ

「地下道-3150」

実施報告

Studio Soda Sendai

地下道-3150（ちかどう・さいこう）開催概要



■ 2022年10月8日（金）～10日（月・祝）
青葉通地下道にて開催したマーケットイベント

■ 仙台市協働制度「ユースチャレンジ！」コラボプロジェクトを活用し仙台市と共催
（アドバイザーとしてNPO法人都市デザインワークスの協力あり）

■ あらゆる「少数派」のために開いたマーケット
仙台市や協力団体と協働で公共空間を利活用

■ 出店者数 1日につき3～4組

■ 来場者数 延べ3390名／購買者 195名

※来場者は通行者、見てみただけ、写真を撮りにきただけの人数もカウント

開催の目的

- 青葉通地下道を「通行」だけでなく「滞在」できる場所に
（結果的に他のエリアへ足を運ぶ 回遊性向上の機運を高める）
- 仙台の既存イベント等に馴染みにくいカテゴリを扱う
事業者、クリエイターの活躍場所をつくる

人と違う自分でありたい人、
人と違っていいのが悩む人。

誰もがのびのびと

「好きなモノ・コト」を愛せる

地下の小さなマーケット



地下道-3150 開催中の様子（2022年10月）

トライアル規模のマーケット&
最終日にはパフォーマンスも



SF、ホラー映画など仄暗いモチーフの出店も
この場所・こういったコンセプトの催事ならしくりく
る



タトゥー文化をポジティブに&もっと身近に！



レズビアンbarのキャストの
皆さんによるパフォーマンス



関東のイベントを中心に
活躍する在仙クリエイターに
よるライブペイント



東北大学立て看同好会による立て看板も登場！
フォトスポットとしても大人気に！



開催してみてもうだったのか

来場してみたての声（来場者）

■ ここがよかった

・「どんな感じなんだろう」とドキドキしてきましたが、思ったより入りやすくて安心しました。私も「ちょっと変わってるかな」と思うようなところがあるので、こういうイベントがあればまたきてみたいです。

・今までずっとイメージが悪いまま活用されてこなかった場所に新しい風が吹き込まれたようで嬉しい。

・青葉通りを歩いていて、これまでは東二番丁通り間できたらアーケードの横断歩道を渡ることが多かった（地下に降りるのが億劫だから）が、今日のイベントのように地下自体に目的性が持てると、青葉通りの人の流れにも良い効果があるように思いました。カウンターカルチャーというテーマにしたイベント自体、仙台では多くなかったと思うので今後も是非続けてほしいと思いました。

来場してみたての声（来場者）

■ 課題

- ・ 出店数をもっと増えてほしい。
- ・ コンセプトがよくわからなかった
- ・ 意図をもっと伝わっていいのでは。いい取り組みなので。
- ・ イベントとしては殺風景なので、音楽とかあるといいな—
（音楽を流していたのは3日目のみ）

開催してみての声（出店者）

■ ここがよかった

- ・ 地下道は、雨など天気が悪くても開催出来る場所で良いなと思いました。
- ・ あまり店に来ていただかないような客層の方がご購入下さった。
- ・ いつもクローズドな場所で活動しているので、家族に普段の活動を見てもらえた！
- ・ 地下道がこんなにぎやかなのって初めてで仙台民としてみても新鮮でした。
- ・ お客様だけでなく、スタッフの皆さんや出店者さんとも交流できる時間がありとても楽しかったです！
- ・ 大学の外で展示をするのがはじめてで、良い経験になった。

開催してみての声（出店者）

■ 課題.....

- ・ 出展者が少なくもったいないと感じました。10店舗は出店がないと.....
- ・ 駐車場、搬入の工夫をしてほしいです（駐車場の用意ができずとも、せめて利用できる案内を丁寧に）。
- ・ 折角地下でアングラな感じでやってるので、闇市感をもう少し欲しいかなあなんて思いました。
- ・ ジャンルが入り混じっているのでBGMのジャンル選定はもっと考えてみてほしいです。人の出入りにも影響があると感じました。
- ・ 飲食可能になったらもっと過ごしやすいはずです！